

G 1 まとめ

食の良さ

- 野菜や魚をくれる。
- おいしいものがたくさん。
(魚、コメ野菜、お菓子などなど)
- お酒 (ビール・ワイン・酒)

地域

- のんびり過ごせる
- 祭りが多 (獅子舞など)
- 閉鎖的 ○飽きない ○静か
- 海から山まで広くて近い
- 海水浴場が混まない
- 朝日山からの景色が良い
- きれいな街

公共交通

- 交通アクセスの向上
- 公共交通少ない (酒との相性が悪い)
- 渋滞がない

まちのにぎわい

- マルシェがある。 ○面白い新規出店をする。
- 若者の集う場所 ○商店街が賑わっていない。
- サービス業が不親切 ○体験を増やす。
- お店回遊マップをつくる。 ○BBQマップをつくる。
- 滞在時間を増やせるような回遊性を増やす。
- 湊川沿いにお店を増やして巡れるようにする。
- 創業経験者として、新規出店者のバックアップをしたい。
- 花火をすごく近くで見れる
- 団体受け入れ店が少ない。

子ども

- 待機児童がない
- 子どもが増えてほしい

教育

- 教育に氷見の伝統を
- 高校卒業後の進学先がない
- 高校の選択肢が少ない

生涯学習

- 文化的なもの (図書館等) が少ない。

G 2 まとめ

ベッドタウンを目指す

- 人を増やすために必要なもの
 - ・住宅
 - ・学校
 - ・公園
- 子育て世代を増やしたい。
- 舟橋村を見習う。
- 親が遊べる場所も欲しい。
- いきなり移住者の呼び込みはハードルが高い。
まずは、氷見に生まれ育った人が出ていかない方策を！
- ターゲットの年齢を絞る。まずは若年層

既存の空き施設の活用

- もっと空き家バンクへの登録を増やす。
- 空き家が多い中で新築は必要か？

魚のまち以外の魅力づくり

- 魚が取れなくなったらどうする？ぶりに頼るな！
- 氷見寿司が減る問題
- 広域的な連携で海外へ向けて発信できる場所を作る。
- 氷見ならではの季節ごとの体験を提案。夏はシュノーケルなど
- 修学旅行の誘致

ハンドボールのまちを活かす

- 年間を通して、大会等を開催する。
- 中学生以外のカテゴリの大会開催や合宿の誘致
- 廃校施設を活用できるのでは。
- 常に人が集まるようになればお店もできる。

すべての原動力は孫の時代のため！
人を増やす！

計画的なまちづくりを！

- 空いている土地は多い
- インターの活用
- 民間の意見を聞いていない
- スピード感がない。
- 何もかもやろうとしすぎ。
- 失敗の検証はしっかり行われたのか。
- いろいろな人がリンクしてやれることはあるはず。
- 何を言われようとブレずに引っ張ってくれるリーダーが欲しい

G3まとめ

子ども・ママ目線

○情報収集・発信が難しい



勝手に観光協会

商店街（シャッターが下りている）



○週1チャレンジショップ

○起業・創業塾に行ってみる！

子ども 遊び 氷見ならではの
（海上アスレチック）

市民目線でマップ作製
（同じ店ばかりになっている。）

氷見市のよくないところ

- せっかくの海が廃れている。 ○拠点になることが少ない。
- 買い物に不便 ○市内の交通網が弱い。
- おもちゃ屋、駄菓子屋が少ない。 ○選択肢が少ない
- 習い事が選べない。 ○何かを学びたいときに市外に行くしかない。
- 文化的なものが弱い ○大きな鉄棒・遊具が少ない。
- 屋内で子どもを遊ばせられる場所が1箇所しかない。
- 人間性が古い（感覚）

氷見市のいいところ

- 土地が大きい。○海・山・川・街・畑など多ジャンルのものである。
- 奥ゆかしい女性が多い。 ○言葉が可愛い
- 食べ物がおいしい。 ○新しいお店がたくさんできている。
- 観光客が増えてきている。 ○自然が豊か。
- 子どもに山でも海でも体験させてあげられる。
- 魅力的な人が多い。 ○祭りに熱い
- 氷見のノリがいい（30代以上） ○本来の生き方ができる。
- 足るを知れる。

関心のない人にも話続けたら、何かやり始めるかも。